

TOWN わたらせ

第724号 2017年 7月22日 (毎週土曜日発行) 無料配布

タウンわたらせ編集室

今回は、治療法と治療を受ける際の具体的な注意点を伝えしようと思います。まず最初は、前回お伝えしたように治療に入る前に、症状を伝えた上で、視診、レントゲン、レーザー診断、などにより国際基準にのっとり虫歯の進行段階を歯科医師に正確に診断してもらってください。

初期の虫歯と診断されれば削らなくても食事や飲み物、砂糖摂取量の改善の指導、ブラッシング、歯質強化などで虫歯の進行を止めて自然治癒力を引き出し、柔らかくなった(脱灰)部分を硬く(再石灰化)させることが可能です。

次に問題となるのは初期の段階を過ぎてしまった虫歯をどう治療するかです。な〜んだ、結局は治療するのかもしれない。治療するということはやっぱ削るのでしょ？虫歯の治療なんて削って詰めるだけなのに、何が違うの？そう思いますよね。確かに虫歯の治療は突き詰めれば削って詰めるだけです。削る↓詰める。たったこれだけの行程に専門的な視点を加えると大き

な違いがあるのです。そもそも虫歯は細菌によって引き起こされた病気です。虫歯の原因は細菌によるものですから、本来なら虫歯菌に対しての処置が治療に含まれるのは当然ではないでしょうか。しかし、現実には虫歯の治療は虫歯菌によって溶かされた部分を削っ



石井 和浩 (歯科医院院長)

essay エッセー 「その虫歯、削らないで!!」③

て取ってしまうことで。それで虫歯菌がいなくなるか、ということ。そんなことはありません。歯の内部やお口の中に残った虫歯菌が時間を経て虫歯の再発を招き、再治療の繰り返しが起こるのです。最新治療では細菌(虫歯

菌や雑菌)をいかに除菌できるかがテーマになります。最近、テレビや本で削らない虫歯治療と話題のドックベスト治療は、天然のミネラル成分による殺菌効果で歯の中に侵入した虫歯菌を永続的に殺菌し続けることで、虫歯を治癒させ、さらに新しい虫歯の発生を防ぐというものです。

また、歯を削るといふ行為は本来、臓器の一部を除去する手術と同じですが、歯科で使われている切削器具(タービンやエンジン)が患者さんごと滅菌されていない医院が多いことも新聞で話題になりました。さらには、歯を削るときに機械から出ている水に対する明確な衛生基準がないので歯を削りながら、歯の内部に雑菌を感染させてしまっている可能性も高いのです。出来るだけ削らない治療を受けて虫歯の再発を防ぐには、虫歯菌を排除する治療を受けること、治療を受ける治療器具や水がしっかり殺菌されたものであるかどうかを確かめることが大切です。